

安全だより

無事故・無災害を目指して

7月・・・水分補給を小まめにし、熱中症対策用品を着用する。
 8月・・・スズメ蜂・毛虫刺され防止策を講じる。

2019年度(令和元年度)第2号

発行日：2019年（令和元年）6月25日
 発行：福山市新涯町二丁目21番30号
 公益社団法人福山市シルバー人材センター
 安全委員会
 TEL（084）953-5222
 FAX（084）953-523

適切なミーティング実施について

安全で効率的に就業するには、仕事の段取り等を全員が把握しておく必要があり、作業時のミーティングは不可欠です。

しかし、実態として、グループによっては、注意箇所や作業手順、役割分担等の必要な打合せをせず、単に「安全就業で頑張りましょう」とだけ話をし、すぐに作業を始めるグループもあると聞きます。

あらためて、作業前・中・後で確認すべき項目や注意すべき事項を挙げておきますので、確実な実施をお願いします。

(1) 作業前ミーティング

- ①グループ員の体調確認
- ②服装の点検（安全保護具含む）
- ③作業道具の点検
- ④作業全体の内容説明
 - ・ 範囲（境界線や対象物等）
 - ・ 仕様（どのように仕上げるか）
 - ・ 作業手順（どこから取り掛かるか）
 - ・ スケジュール（いつまでに仕上げるか）
 - ・ 危険箇所や留意すべき内容（内容によっては目視で現場を認識）

- ⑤各グループ員の役割分担の説明
 - ・ 各自の役割分担（受持ち範囲等）
 - ・ 報告が必要な場合について
 - ※事故が発生した場合
 - ※問題が生じた場合
 - ※自分の受持ちが終了した場合
- ⑥以上の内容を全員が理解したかを確認
- ⑦ストレッチ（柔軟体操）

(2) 受持ち場所での確認事項

- ①開始前
 - ・ 打合せ内容と異なる状況はないか
 - ・ 既に損傷している箇所等はないか
 - ②終了時
 - ・ 損傷した箇所等はないか
- ※いずれの場合も、損傷箇所があった場合は、リーダーを通じ、発注者等へ報告する。

(3) 作業実施時の注意事項

- ・ 体力や集中力が充実している内に、防護対策等共同作業が必要な箇所や注意を要したり、困難であったりする箇所から作業に取り掛かる
- ・ リーダー等は、必要に応じてグループ員の受持ち場所を巡回し、安全就業、履行状況の確認

(4) 作業後のミーティング

- ①グループ員の体調確認
- ②役割分担どおりに履行されたか
- ③ヒヤリハットはなかったか

最後に、お互いが明るい雰囲気です協力的に働くことも安全就業に不可欠です。

次のことを意識して就業しましょう。

[全員]

- 普段からお互いにあいさつや声掛けを心掛け、明るい雰囲気を作りましょう。
- お互いに分からないことがあれば、誤解がないように、聞き直しましょう。
- 節度をわきまえた言葉遣いや立ち居振る舞いを心掛けましょう。

[リーダー、サブリーダー]

- グループ員の経験や技能、体力等、また、周りの意見も考慮し、公平な対応を心掛けましょう。
- 仕事の内容や手順等については、分かりやすい説明を心掛け、説明後には理解されているかを確認しましょう。

[グループ員]

- グループ員は、リーダーやサブリーダーの指示をよく聞いて、明るい雰囲気のもとで就業できるよう、共同責任分担の精神をもって協力しましょう。

事故発生状況について

傷害事故と賠償事故が各1件発生しました。

今年度に入り、傷害・賠償事故が各2件、合計4件の事故となっています。

[墓石で顔面を殴打した傷害事故 (6月12日)]

墓石間の狭い場所の草取りをし、姿勢を変えるため頭の向きを変えた際、墓石で頭を殴打し、右眉の上部を切り、2針縫ったもの。

[刈払機による断線事故 (6月6日)]

施設内の草刈作業を行っていた際、草に埋もれていた配線に気付かず、刈払機で切断したもの。

7月は安全就業強化月間

シルバー人材センターでは、例年7月を『安全・適正就業強化月間』と定めています。

会員のみなさん・事務局が一丸となり、事故の撲滅を図り、「安全・安心」のシルバー事業の推進に取り組みましょう。

安全就業スローガン

**「事故防止、急ぐな、あせるな、
気を抜くな」**

熱中症について

先月号でも触れましたが、これからの時期、熱中症が発生しやすくなります。特に、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日など、身体が暑さに慣れていない時は危険です。

屋外作業の場合、帽子や通気性の良い衣服を着用し、飲み物を十分に用意してください。

また、のどの渇きを感じなくても、意識して、早め早めにこまめな水分補給を行うよう心掛けてください。